

科目名	販売基礎 I	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 宇恵野雅子
学科・コース	エコ・コミュニケーション科2年制(昼二)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1	
教員の略歴	NECグループで福利厚生を行う大型店舗店長を経て、店舗教育などを行い、販売士1級を取得後、専門学校で講師を行う					
授業の学習 内容	<p>売場担当者・販売員として、小売店舗で必要とされるスキル、基本的な仕組み、販売員としての基礎的な知識を身につけることにより、販売店で必要とされる人材にならないと、販売業務に携わった際、何もできなくなるため、お店で一番必要とされるマーチャライジングを中心に理解してもらえます。</p> <p>①商品の仕入れ、に際して計算される原価や値入り率などの計算を繰り返し行う。</p> <p>②商品回転率を理解することで、品揃えや、仕入れる量、在庫の考え方を理解する。</p> <p>③商品のディスプレイなどに伴う、ゾーニングの基本を覚える。 ④お客様がどうやって商品を選ぶのかを知る。</p>					
到達目標	<p>基本的な商品に対するコストと利益を考え、販売戦略など基本的なことは考えられるようにする。</p> <p>ジュアルマーチャライジングを中心として、店舗での商品管理を理解する。</p> <p>お客様にどのように商品を紹介すると喜んでもらえるかなどを理解し実践で役立てるようにする。</p>					
評価方法と基準	授業内での提出物 30%、小テスト(授業内クイズ) 30%、 期末テスト 30%、 授業態度 10%					

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)	
1	4月16日	講義	半期の授業内容を説明し、当科目の明確な学びの目的、目標、方法を理解し、今の現状を知る。			
2	4月23日	講義	今の現状からお客様の考えを探る		計算(消費税)	
3	5月8日	講義	お客様の嗜好の変化		計算(割引)	
4	5月14日	講義	お客様と販売店の関係性・時間のとらえ方		計算(仕入れ原価)	
5	5月21日	講義	お店に置く商品とコンセプト		計算(原価計算)	
6	6月4日	講義	品揃えとディスプレイ		計算(①値入り率)	
7	6月11日	講義	商品売価の設定方法棚割り		計算(②値入り率)	
8	6月18日	講義	ディスプレイの考え方、色と光源 商品の見せ方		計算(商品回転率)	
9	6月25日	Aダイビング講義	売場作りの基本と実践		計算復習	
10	7月2日	Bダイビング♡			計算復習	
11	7月9日	講義	店内の音、温度、香りなどやお客様が望む、店員の態度とは			
12	7月16日	講義	売れる陳列方法		計算(交差比率)	
13	8月27日	講義	期末テスト前の復習			
14	9月3日	講義	前期期末テスト			
15	9月10日	講義	振り返り			
準備学習		時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】						
リテールマーケティングハンドブック3級2級 陳列の教科書他						

科目名	海棲哺乳類学Ⅱ	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	友松こずえ
学科・コース	エコ・コミュニケーション科2年制(昼二)	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	埼玉大学生化学科卒、野村生物科学研究所を経て、生物・ダイビング・鯨類等のライター・映像制作に従事						
授業の学習 内容	海洋哺乳類の飼育・トレーニングにかかわる場合、野生での生態、海の世界を知ることは必須である。これまでに学習した、あるいはこれから学習する、体の仕組みや飼育の技術、環境保全やインタープリター養成講座などをあわせ、アウトドアや飼育の現場で、海洋哺乳類の生態について解説できるようになることを目指す。講師の所有する現場の映像資料を中心に講義を行い可能な限り博物館などの見学も行う						
到達目標	海の世界と海洋哺乳類との関係について、説明できるようになる。海洋哺乳類類以外の海洋生物について、生態を子供にも理解できる言葉で、説明できるようになる。海洋環境の保全、海洋哺乳類の保護について、自分の考え・意見を言うように、また書けるようになる。						
評価方法と基準	出席率 40% 定期試験 60% 筆記試験評価: GPA(A100~90 B89~80 C79~70 D69~60 F59~0) 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回 レポート課題(教材からの抜粋)を提示し、提出をもってDの評価とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	イルカの主な種類を挙げられるようになる。 エコロケーションについて説明できる	前期で学習したことの理解と後期で何を学ぶかの確認。配布資料の復習
2		講義	ハンドウイルカ、ハシナガイルカ、カマイルカの生態と行動を説明できる	知っているイルカの生態を確認。配布資料の復習
3		講義	シャチとコピレゴンドウの生態、どこで見られるかを説明できるようになる	シャチ、コピレゴンドウについての知識を確認。配布資料の復習
4		講義	その他のマイルカ類、イシイルカ、スナメリの生態とどこで見られるかを説明できる	ネズミイルカ類について知っていることを確認。配布資料の復習
5		講義	カワイルカ類について説明できる。 イルカと人間の関係について考えを言える	イルカと人間の関係についてネットなどで調べる 配布資料の復習
6		講義	クジラ・イルカウォッチング、スイミングについてどこで何をやるか提案できるようになる	自分のウォッチング、スイミング体験を確認 配布資料の復習
7		見学	国立科学博物館見学	見学ルートと見学するべきものの確認 学んだことを記録する
8		見学	国立科学博物館見学	見学ルートと見学するべきものの確認 学んだことを記録する
9		講義	深海の環境と生物について説明できる。海洋生態系への意味を理解し説明できる	深海についてネットで情報を収集する 配布資料の復習
10		講義	鰭脚類の種類を挙げられる。 アシカ類について生態や分布を説明できる	鰭脚類について知っていることを確認する 配布資料の復習
11		講義	セイウチ、アザラシ類について生態や分布を説明できる	アザラシについて、ネット情報をチェックする 配布資料の復習
12		講義	ウミガメとペンギンの生態を知り、海洋生態系での意味を説明できるようになる	ウミガメとペンギンの繁殖地を調べる 配布資料の復習
13		講義	後期で学んだことについて、自分の考えを言えるようになる	後期で学習したことの理解を確認する 配布資料の復習
14		講義・試験	試験対策・筆記試験(60分)	試験範囲の対策 試験内容の復習
15		講義	試験の振り返りを行うことで、イルカ類、鰭脚類、海洋生態系についてみ会を深める	試験範囲の復習 配布資料の復習
準備学習 時間外学習			準備学習で学びたいことに気づき、時間外学習により理解を深め、意見を持てるようになる	
【使用教科書・教材・参考書】				
講師が撮影、採録、所有する映像・音源資料を使用する。講師の所有する書籍、資料からコピーを使用する				

科目名	海棲哺乳類学 I	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	友松こずえ
学科・コース	エコ・コミュニケーション科 2年制 昼二	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	埼玉大学生化学科卒、野村生物科学研究所を経て、生物・ダイビング・鯨類等のライター・映像制作に従事						
授業の学習 内容	海洋哺乳類の飼育・トレーニングにかかわる場合、野生での生態、海の世界を知ることは必須である。これまでに学習した、あるいはこれから学習する、体の仕組みや飼育の技術、環境保全やインタープリター養成講座などをあわせ、アウトドアや飼育の現場で、海洋哺乳類の生態について解説できるようになることを目指す。講師の所有する現場の映像資料を中心に講義を行い可能な限り博物館などの見学も行う						
到達目標	海の世界と海洋哺乳類との関係について、説明できるようになる。海洋哺乳類やその他の海洋生物について、生態を子供にも理解できる言葉で、説明できるようになる。海洋環境の保全、海洋哺乳類の保護について、自分の考え・意見を言うように、また書けるようになる。						
評価方法と基準	出席率 40% 定期試験60% 筆記試験評価: GPA(A100~90 B89~80 C79~70 D69~60 F59~0) 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回 レポート課題(教材からの抜粋)を提示し、提出をもってDの評価とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		自己紹介と講義	全員が何に興味があるか、どのような仕事につきたいかを話す。何を学ぶかの確認	自己紹介の準備。 この科目で何を学ぶかを確認し準備する
2		講義	海の世界、潮汐、大循環などを理解し説明できる。海洋生物の多様性を説明できる	これまでに海洋について何を学んだかを確認。 配布資料の復習
3		講義	野生環境で観察できる海洋哺乳類の例を挙げられるようになる	野生動物の観察体験の例を挙げる。 配布資料の復習
4		講義	カイギュウ類の生態を説明できる。 見られる場所を教えられるようになる。	カイギュウ類についてのニュースをチェックする。 配布資料の復習
5		講義	クジラ類はどのような生物かを説明できるようになる。進化について話せるようになる	クジラについて知っていることを確認。 配布資料の復習
6		講義	ザトウクジラの特徴、生態を説明できる。 いつどこで何が見られるかを教えられるようになる	ザトウクジラについてニュースをチェックする。 配布資料の復習
7		講義	ニタリクジラ、カツオクジラ、ツノシマクジラの生態、どこで見られるかを説明できるようになる	土佐湾のニタリクジラについて調べる。 配布資料の復習
8		講義	ナガスクジラ、ミンククジラについて、生態、どこで見られるかを説明できるようになる	ミンククジラの種類についてしらべる。 配布資料の復習
9		講義	シロナガスクジラについてどこで見られるかなど、生態について説明できるようになる	シロナガスクジラについて知っていることを確認。 配布資料の復習
10		講義	コククジラ、セミクジラについて、生態や、どこで見られるかなどを説明できるようになる	ヒゲクジラの採餌方法について調べる。 配布資料の復習
11		講義	マッコウクジラについて、採餌などの生態、どこで見られるかを説明できるようになる	マッコウクジラの潜水について調べる。 配布資料の復習
12		講義	海鳥と海洋ゴミについて、環境保全の観点から意見を言うようになる	海洋ゴミについてのニュースをチェックする 配布資料の復習
13		講義	前期で学んだこと、また捕鯨について自分の意見を言うようになる	前期で学んだことの理解を確認。 配布資料の復習
14		講義・試験	試験対策・筆記試験(60分)	試験範囲の対策 試験内容の復習
15		講義	試験の振り返りを行うことで、カイギュウ類、クジラ類、海の世界について理解を深める	試験範囲の復習 配布資料の復習
準備学習 時間外学習			準備学習で学びたいことに気づき、時間外学習により理解を深め、意見を持てるようになる	
【使用教科書・教材・参考書】				
講師が撮影、採録、所有する映像・音源資料を使用する。講師の所有する書籍、資料からコピーを使用する				

科目名	販売基礎Ⅱ	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 宇恵野雅子
学科・コース	エコ・コミュニケーション科2年制(昼二)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1	
教員の略歴	NECグループで福利厚生を行う大型店舗店長を経て、店舗教育などを行い、販売士1級を取得後、専門学校で講師を行う					
授業の学習 内容	会社で利益を出していかななくては、会社が存続できず、せっかくみなさんが働きだしても、お給料がもらえなくなります。そのために、会社、又はお店全体での継続的な利益を出すためにはどうするべきかを、学ばなくてはなりません。会社で必要とされる人材になってもらうための授業です。例えば、商品を仕入れる時の経費から、それを売るための売価設定、それにより、どの位の利益が見込めるのか。通常の商品販売と違い、生きた魚を仕入れる。などの特殊な商品を仕入れる業界なので、損益計算がある程度理解できるようにするための、計算がちょっと多めの授業です。					
到達目標	基本的な店全体のコストと利益を考える。お店のコストの中心は人件費です。人件費などの経費を含め、店舗全体の販売戦略の基本を知り、それを元に、自分なりのアイデアを考えられるようにする。マーケティングの基本を学び、実際の販売で役に立つ人材になるようにする。働く上で、自分の人件費と労働がどう結びついていて、どう働かなければいけないか、希望のお給料と、現実のお給料の差を、店全体から見て理解し、店舗でどう出来るようにする。					
評価方法と基準	小テスト(授業内クイズ) 40%、 期末テスト 50%、 授業態度 10%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義	半期の授業内容を説明し、当科目の明確な学びの目的、目標、方法を理解し、今の現状を知る。	粗利計算
2	10月8日	講義	会社の組織はどうやって成り立っているか会社の儲けと人件費の関係性	ロス計算
3	10月15日	講義	お店の利益の出し方(総括表)	計算(交差比率)
4	10月22日	講義	固定費と変動費の考え方	前期計算の復習(1)
5	10月29日	講義	限界利益から考える損益分岐点分析(CVP)	前期計算の復習(2)
6	11月5日	講義	お店でかかる経費を考えて店全体の利益を出すための目標売上の出し方	損益分岐点計算(1)
7	11月12日	講義	仕入れ価格と経費から、売価設定	損益分岐点計算(2)
8	11月19日	講義	お店の経費と利益などの関係を数字で理解。	損益分岐点計算(3)
9	11月26日	講義	損益分岐点計算	前期+損益分岐点計算(1)
10	12月3日	講義	損益分岐点からどのように販売計画を立てるべきか。	前期+損益分岐点計算(2)
11	12月10日	講義	移動平均・移動累計	総復習
12	12月17日	講義	後期期末テスト	
13	1月21日	講義	振り返り	
14	1月28日	講義	陳列の考え方	
15	2月4日	講義	値段の付け方	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	動物の健康管理Ⅲ	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	横山 昌美
学科・コース	エコ・コミュニケーション科2年制(昼二)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	愛玩動物看護師 複数の動物病院にて勤務経験あり						
授業の学習 内容	1年次に学んだ犬の身体の仕組みや健康管理を復習し、実際に自分で考え、判断・行動ができるドッグトレーナーを目指します。またオーナー様からの様々な質問や相談に答えられる知識を身につけ、アドバイスできる知識を習得します。						
到達目標	①犬の身体の仕組みや健康について復習し、理解を深める ②異常を感じた場合に対処できる判断力や知識を身につける ③様々な知識を身につけ、オーナー様への対応力を身につける						
評価方法と基準	1) 定期試験 50% 2) 出席率 25% 3) 授業態度 25%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義＋演習	飼育管理について復習する	授業ノートの復習
2	4月24日	講義＋演習	寄生虫について復習する	授業ノートの復習
3	5月8日	講義＋演習	ワクチンについて復習する	授業ノートの復習
4	5月15日	講義＋演習	尿検査について復習する	授業ノートの復習
5	5月22日	講義＋演習	便検査について復習する	授業ノートの復習
6	6月5日	講義＋演習	動物福祉について学ぶ	授業ノートの復習
7	6月12日	講義＋演習	動物介在介入について学ぶ	授業ノートの復習
8	6月19日	講義＋演習	使役犬について学ぶ	授業ノートの復習
9	6月26日	講義＋演習	災害時対策について学ぶ	授業ノートの復習
10	7月3日	講義＋演習	動物虐待について学ぶ	授業ノートの復習
11	7月10日	講義＋演習	ペットロスについて学ぶ	授業ノートの復習
12	7月17日	講義＋演習	救急疾患とその対応方法について学ぶ	授業ノートの復習
13	8月28日	講義	試験前の復習	試験範囲の復習
14	9月4日	講義	筆記試験	試験の復習
15	9月11日	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	解説後の復習
準備学習 時間外学習			授業ノートを整理、復習し、新しい言葉は調べる	
【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具・ノート				

科目名	動物の健康管理Ⅳ	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	横山 昌美
学科・コース	エコ・コミュニケーション科2年制(昼二)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	愛玩動物看護師 複数の動物病院にて勤務経験あり						
授業の学習 内容	1年次に学んだ犬の身体の仕組みや健康管理を復習し、実際に自分で考え、判断・行動ができるドッグトレーナーを目指します。またオーナー様からの様々な質問や相談に答えられる知識を身につけ、アドバイスできる知識を習得します。						
到達目標	①犬の身体の仕組みや健康について復習し、理解を深める ②異常を感じた場合に対処できる判断力や知識を身につける ③様々な知識を身につけ、オーナー様への対応力を身につける						
評価方法と基準	1) 定期試験 50% 2) 出席率 25% 3) 授業態度 25%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義＋演習	代表的な皮膚の病気について学ぶ	授業ノートの復習
2	10月9日	講義＋演習	代表的な心臓の病気について学ぶ	授業ノートの復習
3	10月16日	講義＋演習	代表的な呼吸器の病気について学ぶ	授業ノートの復習
4	10月23日	講義＋演習	代表的な消化器(食道・胃・腸)の病気について学ぶ	授業ノートの復習
5	10月30日	講義＋演習	代表的な消化器(肝臓・膵臓・胆嚢)の病気について学ぶ	授業ノートの復習
6	11月6日	講義＋演習	代表的な泌尿器の病気について学ぶ	授業ノートの復習
7	11月13日	講義＋演習	代表的な耳と眼の病気について学ぶ	授業ノートの復習
8	11月20日	講義＋演習	代表的な口の病気について学ぶ	授業ノートの復習
9	11月27日	講義＋演習	代表的な生殖器の病気について学ぶ	授業ノートの復習
10	12月4日	講義＋演習	代表的な神経・運動器の病気について学ぶ	授業ノートの復習
11	12月11日	講義	試験前の復習	試験範囲の復習
12	12月18日	講義	筆記試験	試験の復習
13	1月15日	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	解説後の復習
14	1月22日	講義＋演習	犬種と犬種別の疾患について学ぶ①	授業ノートの復習
15	1月29日	講義＋演習	犬種と犬種別の疾患について学ぶ②	授業ノートの復習
準備学習 時間外学習		授業ノートを整理、復習し、新しい言葉は調べる		
【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具・ノート				